

# ONE TEAM

第 7 号

令和7年11月1日発行

## 音楽を楽しむ



帰りの会の時間、学校中からいろいろな歌声が聞こえています。それぞれのクラスが今まで育んできた絆が、良い歌を創っていくのだと思います。各クラスの魅力や特色が表出する歌を、本番聴けることを楽しみにしています。そして桜歌祭を通して、クラスの仲をさらに深めてください。

当日の合唱には賞がつきます。コンクールなので同じ学年のクラスはライバルですが、仲間でもあります。この桜歌祭を行う目的は、各クラスの優劣をつけるためのものではなく、クラス、延いては学年の仲間と合唱を楽しむことにあります。すべての生徒が合唱を楽しみ、晴れ晴れとした表情で「やり切った」と思えることが素晴らしいと思います。賞は後からついてくるものです。心から音楽を楽しみ、美しい合唱を歌ってください! そして歌詞のように、未来へ羽ばたいてください!

1組「信じる」: 谷川俊太郎さんの詩を深く理解し、ストーリー性をもって合唱しよう!

2組「青い鳥」: 優雅で壮大に飛ぶ青い鳥を、歌声で表現しよう!

3組「Chessboard」: 詩を理解し、調の雰囲気に合わせた歌声で曲を表現しよう!

4組「Replay」: 言葉のタイミングをそろえて、まとまりのある合唱を創ろう!

5組「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～

:何度も繰り返されるメロディーに意味を持たせてそれを表現しよう!

6組「証」: 言葉のタイミングをそろえて、声のバランスを整えよう!

7組「はじまり」: 壮大な音楽観を、ストーリー性をもって表現しよう!

8組「虹」: 各パートの歌声が際立つように、バランスを考えよう!



歌詞の読み取り  
をしました!

## 「未来へ」の詩を読んで



・「未来の分からない世界を生きる強さを、私たち人間はもっている。一人ひとりの生きる一瞬こそが未来である。」ということをこの詩で綴っているのではないか。だから一つ一つの言葉

(歌詞)を、希望を持った声、そして意思を持った力強い声で合唱したい。(8組)

・長い歴史の「過去」があり、そこで生きて生命をつないできた人々の思い、出来事の延長で自分たちが生きている。自分たちは「過去」と「未来」をつなぐ尊い存在。また、スミレの花言葉は「謙虚」「誠実」「小さな幸せ」。人への感謝、たくさんの愛情、そして人とのつながりや今を大切にする気持ちが、込められている。「過去」の人たちへの感謝、そして「未来」への希望を感じながら、この歌を最高学年として、きれいな歌声で歌い上げたいと思った。(2組)

## 2学期末試験に向けて

11月13日(木)と14日(金)に2学期末試験があります。この試験は受験生にとって一番大切な定期試験と言っても過言ではありません。すでに試験に向けた勉強を始めている人もいると思います。まだ始めていない人はすぐに始めましょう。まずは試験範囲をしっかり確認して、明確な目標を立ててから計画をしっかり考えましょう。計画を実行してうまくいかなければ、自分の状況に合うように調整しましょう。無茶な計画ばかりで、実行に移せないままでいるのはもったいないです。また、一週間前になれば、計画の見直しをしてみると良いでしょう。常に自分を見つめ、ひたむきに頑張ってください。そして、提出物も期限内に高いクオリティのものを提出できるようにコツコツ進めていきましょう。



## 進路面談を終えて

面談を終えて、それぞれが自分の課題に向かって努力していることと思います。定期試験を控えて時間が無い中ですが、高校見学や入試説明会等に行くようにアドバイスされた人は、家庭で日時を相談して行って来てください。また面談の時に志望校が決まらなかった人は、家庭でゆっくり相談し、進捗状況を必ず担任の先生に伝えてください。

### 11月の主な行事予定

最終下校 17:00

日	曜	行事	日	曜	行事
1	土		16	日	
2	日		17	月	3年テスト救済日
3	月	文化の日	18	火	
4	火	火1256水56	19	水	56全校集会
5	水	月1234木5 ブロック定例研	20	木	
6	木	木12346	21	金	
7	金	まなびくらぶ	22	土	
8	土	3年テスト5日前諸活動中止	23	日	勤労感謝の日
9	日		24	月	振替休日
10	月	桜歌祭(市川文化会館)	25	火	水1234金56
11	火	月1234火34	26	水	金1234水56 56保健講演会
12	水		27	木	木1256
13	木	3年2学期末テスト1日目 (学英数国)	28	金	火曜日課 まなびくらぶ
14	金	3年2学期末テスト2日目 (音技家理社)	29	土	
15	土	市川市こども作品展・新聞展 (三中12:00~市川文化会館)	30	日	